

児童・生徒用

内容説明書 (審査・展示用)

(第55回)

受付番号 612 学校No. 183

ふりがな せき たかみ
氏名 関 敬美
学校名 石原立石原波東部学校
学年 6年

ふりがな うしろからスコープ
作品の名称 後ろからスコープ

(特徴)

視界が人や物にさえぎられ、前が見えないとき、ぼうをのばして見ることが出来る。運動会や学習発表会するとき前に入がいても、その前や、見たいところを見ることが出来る。また、ぼうの先にあるクリップにスマホをとりつけ動画を撮ることが出来る。

(使い方) ー前を見る場合ー

- ① ぼうの長さをちょうどする。② 上の箱をまっすぐにする。③ 裏の穴を指で接眼部をおし出す。
- ④ 接眼部からのぞきながら、下の鏡に上の鏡がうつるように、接眼部の右側にあるレバーで、下の鏡の角度をちょうどする。

ー動画を撮る場合ー

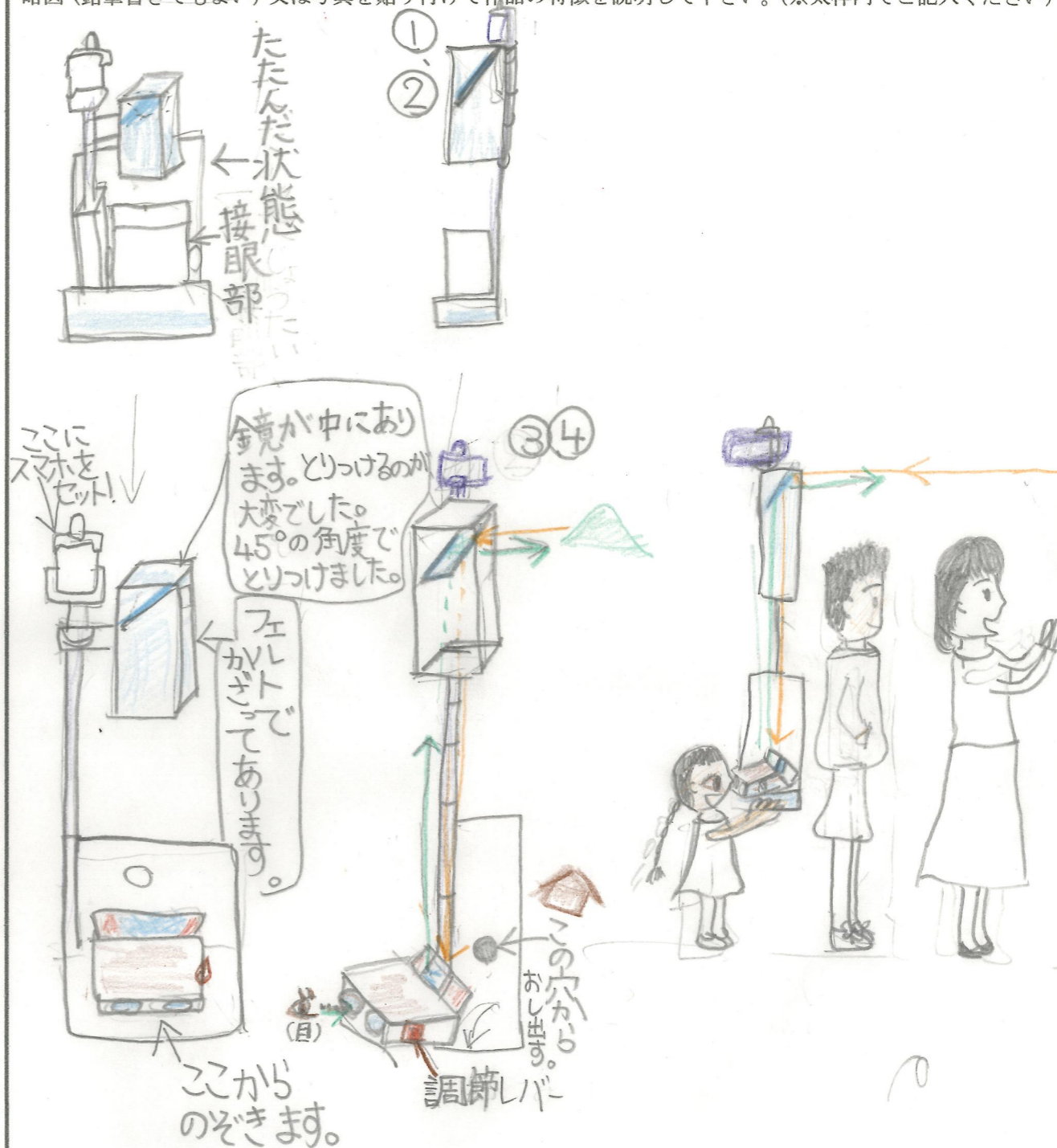
ぼうの先のクリップの先端にあるでっぱりをもち引きあげて、スマホをはさみこむ。

☆使い終わったら小さくたたむ。

◇ 作品を作った動機や参考にしたものがあれば、下記 () の中に○印をつけて下さい。

- ① () テレビ、科学雑誌、参考図書など
- ② () 発明くふう展、科学館、大学祭、各種のイベントから
- ③ () 講師や先生、両親などからヒントをもらった
- ④ () 発明クラブ、理科の学習、各種工作教室から
- ⑤ (○) その他、自分で考えた

略図(鉛筆書きでもよい)又は写真を貼り付けて作品の特徴を説明して下さい。(※太枠内でご記入ください)



【記載注意事項】

1. この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
2. 第一次審査は、この説明書のみでなされ、使用法など不明確な場合は、審査にもれることがあります。
3. 従来のもの(或いは方法)に比し、どこを(何を)どのようにくふうしたか、要点を判り易く図または写真でご説明下さい。
4. 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
5. この内容説明書は締切日まで事務局へ提出して下さい。